

Microsoft .NET Framework 3.5 インストールについて

下記「カスタマサポートツール」を使用するためには、Microsoft .NET Framework 3.5 が必要です。

<Microsoft .NET Framework 3.5を必要とするカスタマサポートツール>

- ・ ER-A411/ER-A421 カスタマサポートツール
- ・ XE-A147 カスタマサポートツール
- ・ XE-A207 カスタマサポートツール
- ・ XE-A307 カスタマサポートツール
- ・ XE-A407/XE-A417 カスタマサポートツール
- ・ XE-A270/XE-A280/XE-A270BT/XE-A280BT カスタマサポートツール

Microsoft .NET Framework 3.5 はMicrosoft社から提供されており、そのインストール方法はWindows OSの種類によって異なります。ここでは、Windows OS別にMicrosoft .NET Framework 3.5 をインストールする方法について説明しています。なお、インストールはパソコンをネットワークに接続した状態でおこなってください。

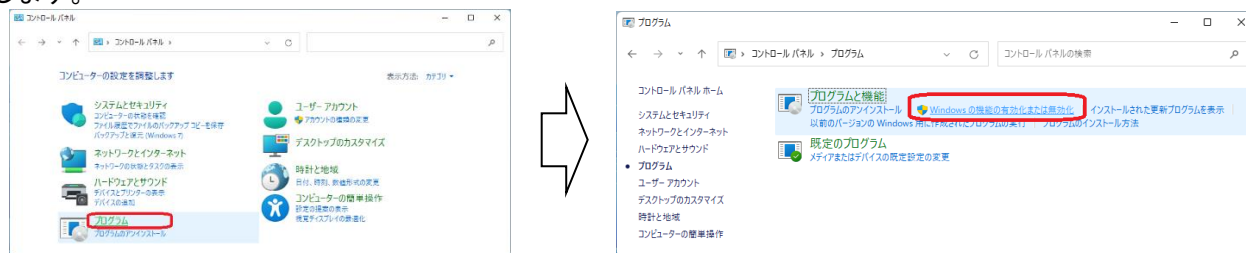
Windows® 11 コントロールパネルにある『Windowsの機能の有効化または無効化』で、“.NET Framework 3.5”を【有効】と設定します。【有効】と設定すると、ネットワークに接続して必要なファイルがダウンロードされ、インストールされます。 『Windowsの機能の有効化または無効化』は、[設定]→[アプリ]→[オプション機能]→[Windowsのその他の機能]でも開くことができます。
Windows® 10、Windows® 8.1 / 8 コントロールパネルにある『Windowsの機能の有効化または無効化』で、“.NET Framework 3.5”を【有効】と設定します。【有効】と設定すると、ネットワークに接続して必要なファイルがダウンロードされ、インストールされます。
Windows® 7 標準でインストールされていますので、インストール作業はありません。（『Windowsの機能の有効化または無効化』で、.NET Framework 3.5を【有効】と設定されています。）ただし、コントロールパネルにある『Windowsの機能の有効化または無効化』で【無効】と設定されていた場合は、【有効】と設定します。
Windows Vista® 、Windows® XP Microsoftダウンロードのページからインストールプログラムをダウンロードしてインストールします。

* Windows® および Windows Vista® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Windows® 11、Windows® 10、Windows® 8.1 / 8 、Windows Vista® 、Windows® XP について “.NET Framework 3.5”のインストール方法を次のページで説明します。（Windows® 7 は標準でインストールされているため、説明を省略します。）


Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールのしかた

- 1) [コントロールパネル] から [プログラム] を選択して、「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。



コントロールパネルの開きかた：

コントロールパネルを開く方法にはいくつかの方法があります。その一例は次のとおりです。

Windows画面の下にある  をクリックして、スタート画面を表示します。

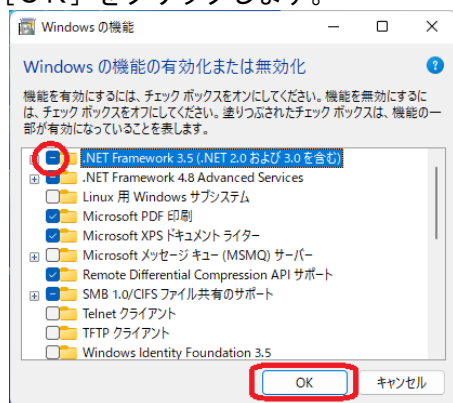
スタート画面の上部にある検索BOXに「コントロールパネル」と入力して検索すると、コントロールパネルが表示されます。

くわしくはWindowsの説明書などをご確認ください。

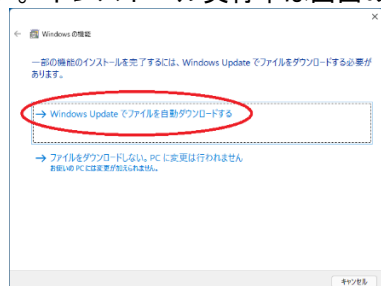
<検索 BOX に「コントロールパネル」と入力した状態>

🔍 コントロールパネル

- 2) “.NET Framework 3.5” のチェックボックスをクリックしてマーク(下図)をつけて、[OK] をクリックします。



- 3) [OK] ボタンをクリックすると、 “.NET Framework 3.5” のインストールがおこなわれます。次の画面が表示されたときは、“Windows Update からファイルをダウンロードする” をクリックしてください。インストール実行中は画面の指示に従って操作をしてください。



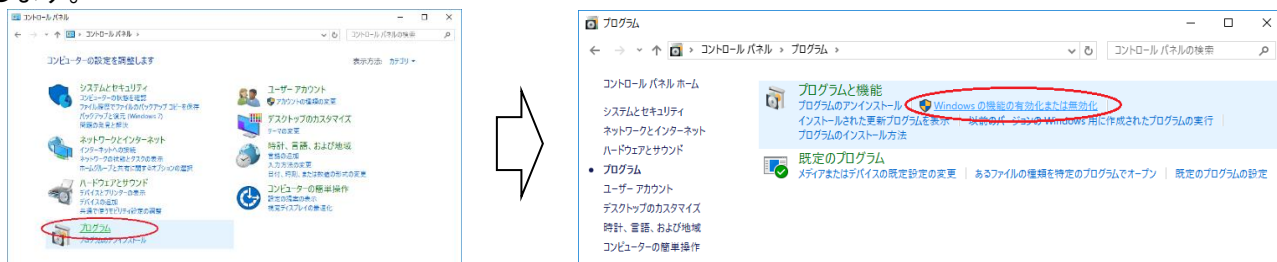
メモ “.NET Framework 3.5” のインストールは、ご使用の環境によって所要時間が異なります。長時間同じ画面が表示されている場合でも、そのままお待ち頂ければ、自動的にインストール作業は進みます。

[Windows® 10] [Windows® 8.1 / 8]

Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールのしかた


(※) Windows® 10とWindows® 8.1 / 8 は同じ方法でインストールします。ここでは、Windows® 10の画面を使って説明します。



- 1) [コントロールパネル] から [プログラム] を選択して、「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックします。



コントロールパネルの開きかた：

コントロールパネルを開く方法にはいくつかの方法があります。その一例は次のとおりです。

Windows画面の左下にある  をクリックして、スタートメニューを表示します。

スタートメニューから  または  をクリックして、「Windowsの設定」を表示します。

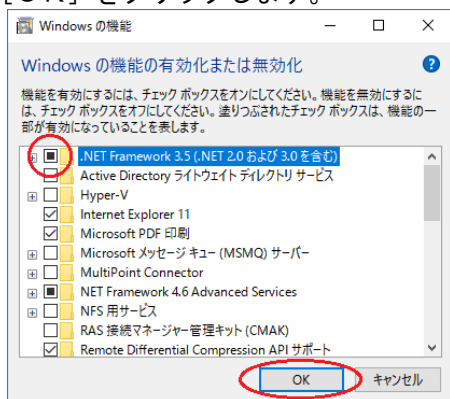
Windowsの設定で「コントロールパネル」と入力して検索すると、

コントロールパネルが表示されます。

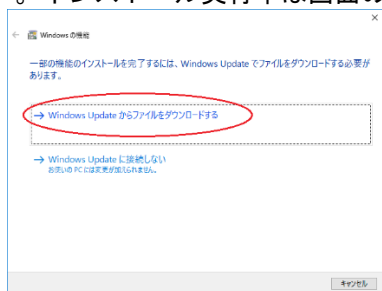
くわしくはWindowsの説明書などをご確認ください。



- 2) “.NET Framework 3.5” のチェックボックスをクリックしてマーク(下図)をつけて、[OK] をクリックします。



- 3) [OK] ボタンをクリックすると、“.NET Framework 3.5”のインストールがおこなわれます。次の画面が表示されたときは、“Windows Update からファイルをダウンロードする”をクリックしてください。インストール実行中は画面の指示に従って操作をしてください。



メモ “.NET Framework 3.5”のインストールは、ご使用の環境によって所要時間が異なります。長時間同じ画面が表示されている場合でも、そのままお待ち頂ければ、自動的にインストール作業は進みます。

[Windows Vista®] [Windows® XP]

Microsoft .NET Framework 3.5 のインストールのしかた

- 1) Webブラウザを起動して、インターネット検索画面（Googleなど）で「Microsoft .NET Framework 3.5 SP1」を入力して、Microsoftの“.NET Framework 3.5”のダウンロードサイトを検索します。（ダウンロードサイトのURLは変更になる場合がありますので、インターネット検索で探してください。）

例) Google検索結果 [2017年6月時点]



- 2) 検索結果からダウンロードサイトに移り、「インストール方法」に説明されている内容に従って、“.NET Framework 3.5”をインストールします。

例) 検索結果から(上図の○印をクリックして)ジャンプしたマイクロソフトダウンロードのページ [2017年6月時点]



メモ “.NET Framework 3.5”のインストールは、ご使用の環境によって所要時間が異なります。長時間同じ画面が表示されている場合でも、そのままお待ち頂ければ、自動的にインストール作業は進みます。